

中間決算説明資料



※予測に関する注意事項

・本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて作成しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。

2016年10月
株式会社タダノ



【会社名】	株式会社タダノ(1948年8月24日設立)創業者 多田野 益雄 1955年国内初の油圧式トラッククレーンを開発	
【代表者】	代表取締役社長(CEO)多田野 宏一	
【本社】	香川県高松市新田町甲34番地	
【主な事業】	建設用クレーン、車両搭載型クレーン、高所作業車の製造販売	
【事業所】	東京事務所[墨田区]、高松工場[高松市]、志度工場[さぬき市]、多度津工場[多度津町]、千葉工場[千葉市]	
【拠点】	(日本)10支店、23営業所 (海外)北京事務所[中国]、中東事務所[UAE]	
【資本金】	13,021百万円	【株式】発行済 129百万株 株主数 8,121人(16年9月末)
【売上高】	209,426百万円(15年度)	
【従業員数】	連結 3,415人、単独 1,500人(16年9月末)	
【関係会社】	(日本)子会社 11社、関連会社 1社 (海外)子会社 18社、関連会社 2社 ㈱タダノアイメス タダノ・ファウンGmbH、タダノ・ファウン・シュタールバウGmbH[独] ㈱タダノアイレック タダノ・ユーカー Ltd. [英] ㈱タダノエステック タダノ・フランス SAS [仏] ㈱タダノエンジニアリング タダノ・アメリカ・ホールディングスInc.、タダノ・アメリカCorp.、タダノ・マンティスCorp. [米] ㈱タダノテクノ東日本 タダノ・パナマS.A.[パナマ] ㈱タダノテクノ西日本 タダノ・ブラジル・エキバメントス・デ・エレヴァサオンLtda.[ブラジル] 太平機工㈱ 京城多田野(北京)液圧機器有限公司、金天利多田野(河北)金属加工有限公司 ㈱タダノ教習センター 多田野(北京)科貿有限公司 [中国] ㈱タダノ物流 韓国多田野株式会社 [韓国] ㈱タダノシステムズ タダノ・タイランドCo.,Ltd.、タダノ・タイ・パーツ・アンド・サービスCo.,Ltd[タイ] ㈱タダノビジネスサポート タダノ・アジアPte Ltd.[シンガポール] タダノ・インディアPvt.Ltd.[インド] タダノ・オセアニアPty Ltd [オーストラリア] 北起多田野(北京)起重機有限公司 [中国] 台湾多田野股份有限公司 [台湾]	

16年度中間決算のポイント

(単位:百万円)

	15年度中間期		16年度中間期		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	104,189	100.0%	90,914	100.0%	-12.7%
営業利益	16,187	15.5%	10,094	11.1%	-37.6%
経常利益	15,983	15.3%	10,024	11.0%	-37.3%
親会社株主 当期純利益	10,724	10.3%	6,973	7.7%	-35.0%

	15年度中間期	16年度中間期
設備投資額	1,397百万円	1,459百万円
減価償却費	1,315百万円	1,517百万円
為替レート(USD)	120.23円	111.81円
為替レート(EUR)	134.17円	124.62円

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

※為替レートは1-6月期中平均レート(海外子会社6月中間決算のため)

【16年度の経営方針】

- ①コアバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②中期経営計画(14-16)最終年度の仕上げと次期中計(17-19)の検討
- ③市場急落・競争激化への備えと対応
 - ◆6年振りの減収減益
 - ・建設用クレーンの需要減少
 - ・為替
 - ◆日本向け売上高は横ばい、海外向け売上高は減少
 - ⇒日本向け売上高 508億円 → 497億(△2.2%)
建設用クレーン、車両搭載型クレーンが減少、高所作業車が増加。
 - ⇒海外向け売上高 533億円 → 411億(△22.8%)
主要市場の需要減少。
 - ◆海外売上高比率 51.2% → 45.3%
 - ◆利益は減少
 - 営業利益 161億円 → 100億円
 - 経常利益 159億円 → 100億円
 - 当期純利益 107億円 → 69億円

損益計算書(対前年同期比較)



	15年度中間期		16年度中間期		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	104,189	100.0%	90,914	100.0%	-13,275
売上原価	72,533	69.6%	65,282	71.8%	-7,250
割賦販売利益	-110	-0.1%	94	0.1%	204
売上総利益	31,545	30.3%	25,726	28.3%	-5,819
販管費	15,358	14.7%	15,631	17.2%	273
営業利益	16,187	15.5%	10,094	11.1%	-6,092
営業外損益	-203	-0.2%	-70	-0.1%	133
経常利益	15,983	15.3%	10,024	11.0%	-5,959
特別損益	-24	-0.0%	-57	-0.1%	-33
税引前当期純利益	15,959	15.3%	9,966	11.0%	-5,992
法人税等	5,203	5.0%	2,957	3.3%	-2,245
非支配株主当期純利益	30	0.0%	35	0.0%	4
親会社株主当期純利益	10,724	10.3%	6,973	7.7%	-3,751

【増減のポイント】

◆売上原価率 69.6% → 71.8%

・売価の維持改善、コストダウンによる原価低減に努めるも、売上減少と為替影響により、売上原価率は、前年同期比2.2%ポイント悪化。

◆販管費 273百万円増加

・変動費減少 △ 69百万円
 ・人件費増加 + 60百万円
 ・その他諸経費増加 + 282百万円

◆営業外損益

・営業外収益 239百万円 → 309百万円
 ・営業外費用 443百万円 → 379百万円

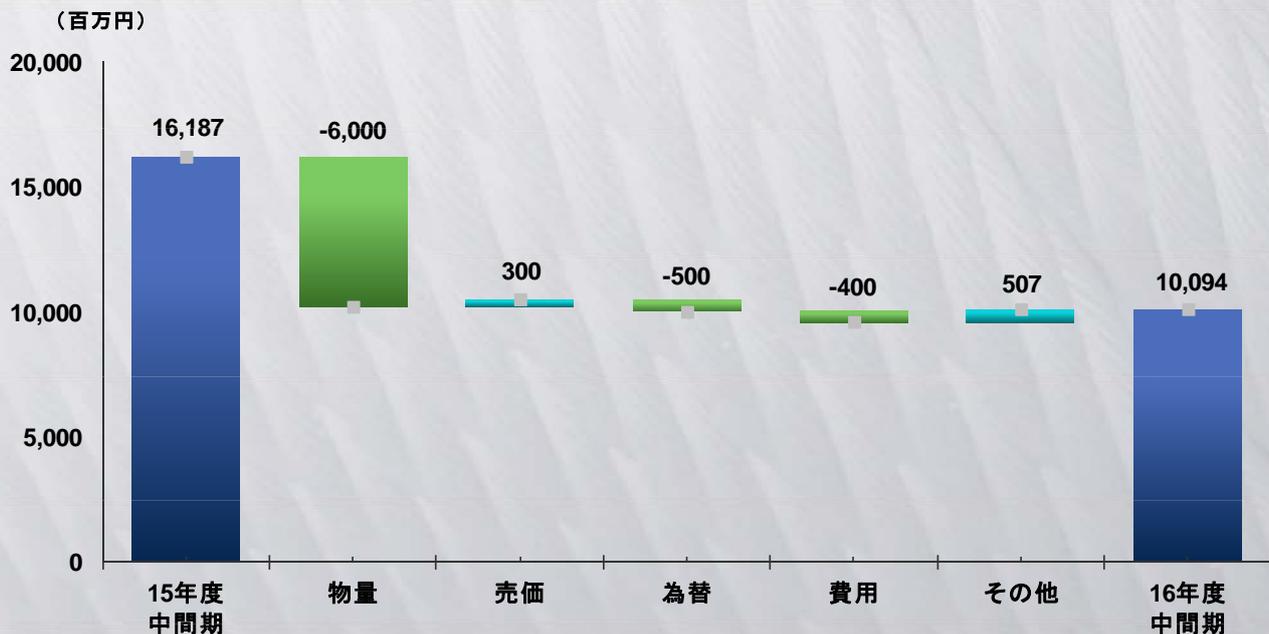
◆特別損益

・特別利益 1百万円 → 1百万円
 ・特別損失 25百万円 → 58百万円

損益計算書(営業利益の増減要因)



売上減少や為替影響等により、営業利益は60億円の減少。



貸借対照表(対前期末比較)



(単位:百万円)

	15年度末		16年度中間期末		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
手許資金	73,618	31.3%	66,798	29.2%	-6,819
売上債権	51,143	21.7%	48,201	21.1%	-2,942
たな卸資産	53,021	22.5%	58,287	25.5%	5,265
その他	7,699	3.3%	6,965	3.0%	-734
流動資産計	185,483	78.8%	180,253	78.8%	-5,230
有形固定資産	38,982	16.6%	37,906	16.6%	-1,075
無形固定資産	1,187	0.5%	1,008	0.4%	-179
投資その他の資産	9,747	4.1%	9,606	4.2%	-140
固定資産計	49,917	21.2%	48,522	21.2%	-1,394
資産合計	235,400	100.0%	228,775	100.0%	-6,625
仕入債務	35,845	15.2%	32,262	14.1%	-3,582
有利子負債	36,869	15.7%	37,302	16.3%	432
その他	27,889	11.8%	23,696	10.4%	-4,192
負債計	100,603	42.7%	93,261	40.8%	-7,341
純資産計	134,796	57.3%	135,513	59.2%	716
負債・純資産計	235,400	100.0%	228,775	100.0%	-6,625

【増減のポイント】

- ◆ **売上債権は減少**
511億円 → 482億円
⇒ 売上債権回転期間は悪化
(15年度中間 90.1日 / 15年度 89.1日 → 16年度中間 97.0日)
- ◆ **たな卸資産は増加**
530億円 → 582億円
(582億円のうちTFG分166億円)
⇒ たな卸資産回転期間は悪化
(15年度中間 93.5日 / 15年度 92.4日 → 16年度中間 117.3日)
- ◆ **有利子負債は増加**
368億円 → 373億円
⇒ 短期 4億円増加 長期 0億円減少

キャッシュ・フローの概要



営業活動キャッシュ・フローの減少により、総合キャッシュ・フローは68億円の減少。



製品別売上高



(単位:百万円)

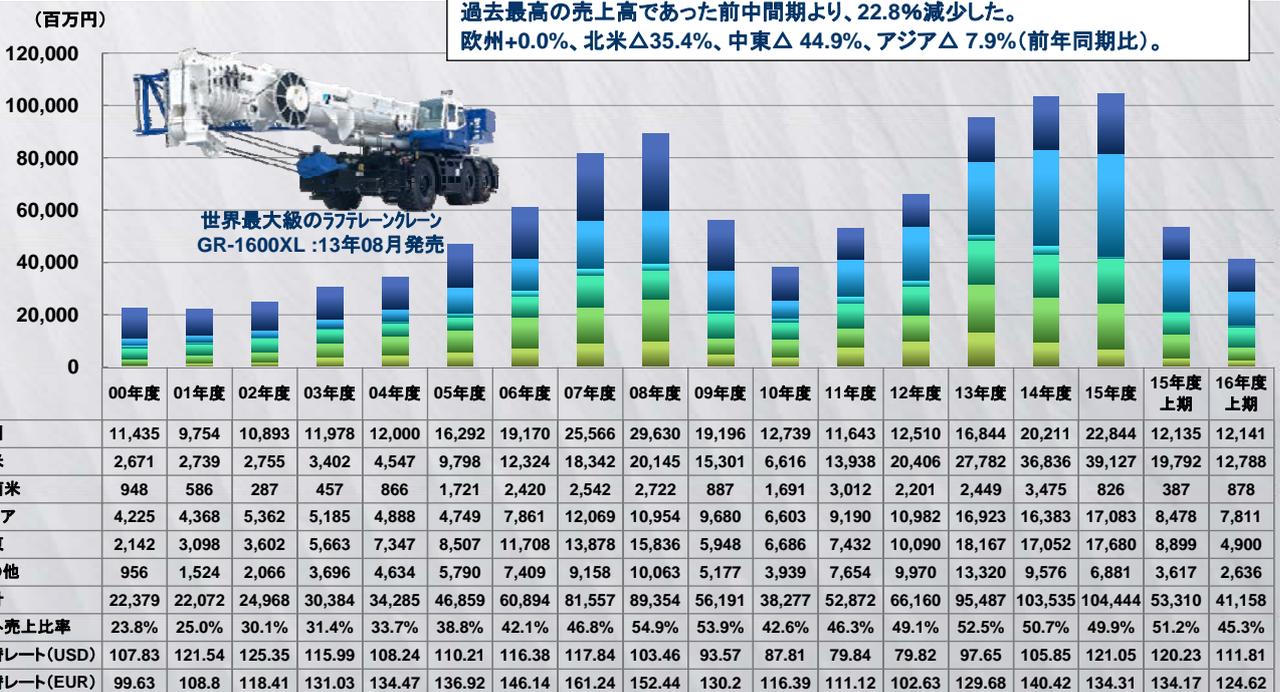
	15年度 中間期		16年度 中間期		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	71,297	68.4%	57,369	63.1%	-13,928	-19.5%
車両搭載型クレーン	9,957	9.6%	9,534	10.5%	-422	-4.2%
高所作業車	8,796	8.4%	10,831	11.9%	2,035	23.1%
その他	14,138	13.6%	13,178	14.5%	-959	-6.8%
合計	104,189	100%	90,914	100%	-13,275	-12.7%

◆海外売上高比率 51.2% → 45.3%

※建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

日本	24,884	22,429	-2,454	-9.9%
海外	46,413	34,939	-11,474	-24.7%

海外仕向地別売上高推移

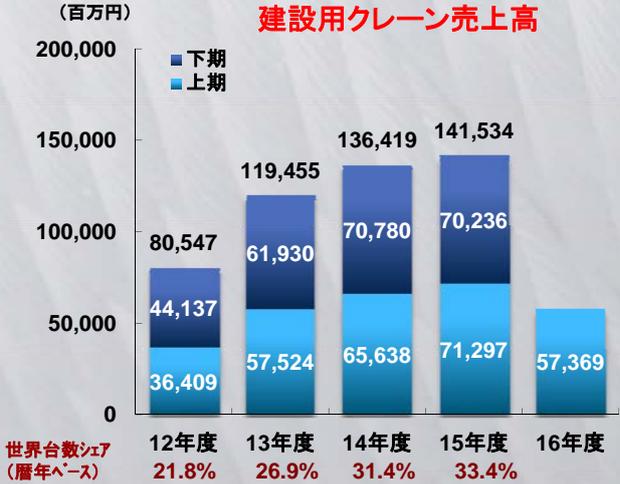


※・その他は、オセアニア、アフリカ、CIS。
・為替レートは期中平均レート(海外子会社12月決算のため、通期1-12月平均・中間期1-6月平均)
・01年度以前はDMをEURに換算したものを表示しております。

建設用クレーン売上高(日本)



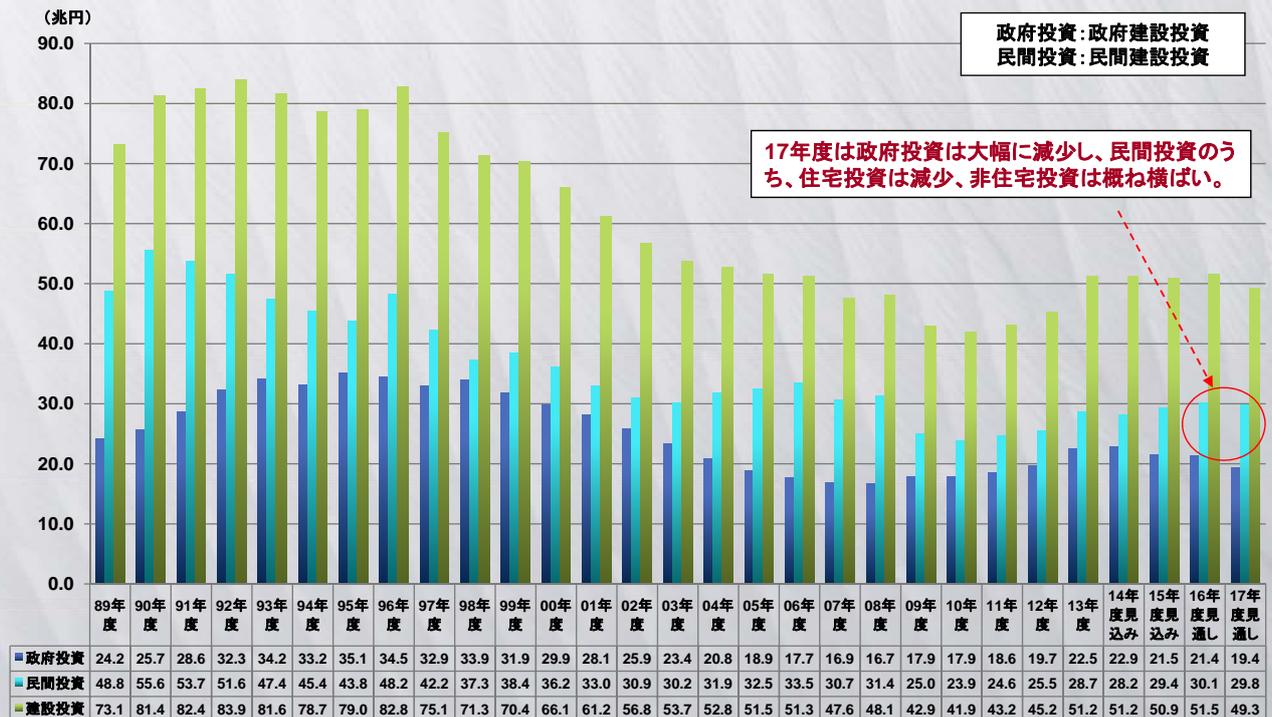
建設用クレーン売上高



建設用クレーン売上高(海外)

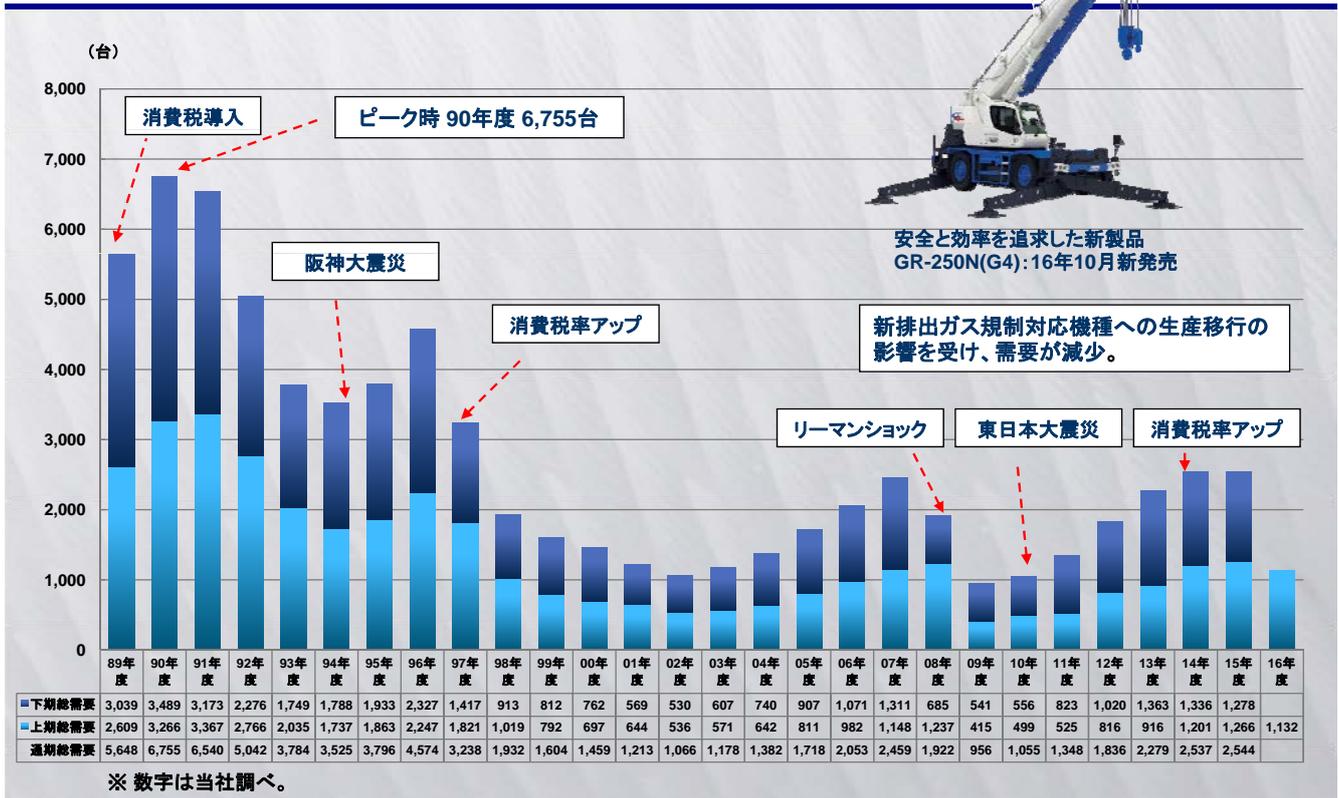


日本建設投資の推移と見通し



※ 数字はすべて名目建設投資。予測は、建設経済研究所の「建設投資の見通し」(16年8月30日発表)による。

建設用クレーンの日本総需要の推移



建設用クレーン



日本シェア 48.1%→47.5%

油圧式建設用クレーン日本総需要 1,132台(16年度中間、当社調べ) 前年同期比10.6%減

⇒需要が減少するなか、拡販に注力。トン数シェア751.5%→47.9%。

日本向け売上高は224億2千9百万円(前年同期比 90.1%)

【ラフテレーンクレーン】

- ・日本建設用クレーンの中心機種
日本総需要の95%(北米総需要の65%)
- ・市街地の建築工事に欠かせない都市型クレーン
- ・コンパクトな車体で、狭小地でも性能発揮
(前輪、後輪共にステアリング可能)
- ・クレーンの運転席と自動車の運転席が兼用
- ・日本向け13~70t吊り 6機種
海外向け12~145t吊り 8機種
- ・日本は一般道走行
北米はトレーラー輸送



【オールテレーンクレーン】

- ・日本では都市開発、高架・橋梁工事向けの大型クレーン
日本総需要の5%
(欧州総需要の87%)
- ・遠距離走行性に加え
小回り性にも優れる。
(ステアリングに特徴)
- ・日本向け100~550t吊り 6機種(独TFG製造、タノ製造)
- ・海外向け40~400t吊り 10機種(独TFG製造)
- ・日本での一般道走行時には分解搬送が必要
欧州では分解走行不要



【トラッククレーン】

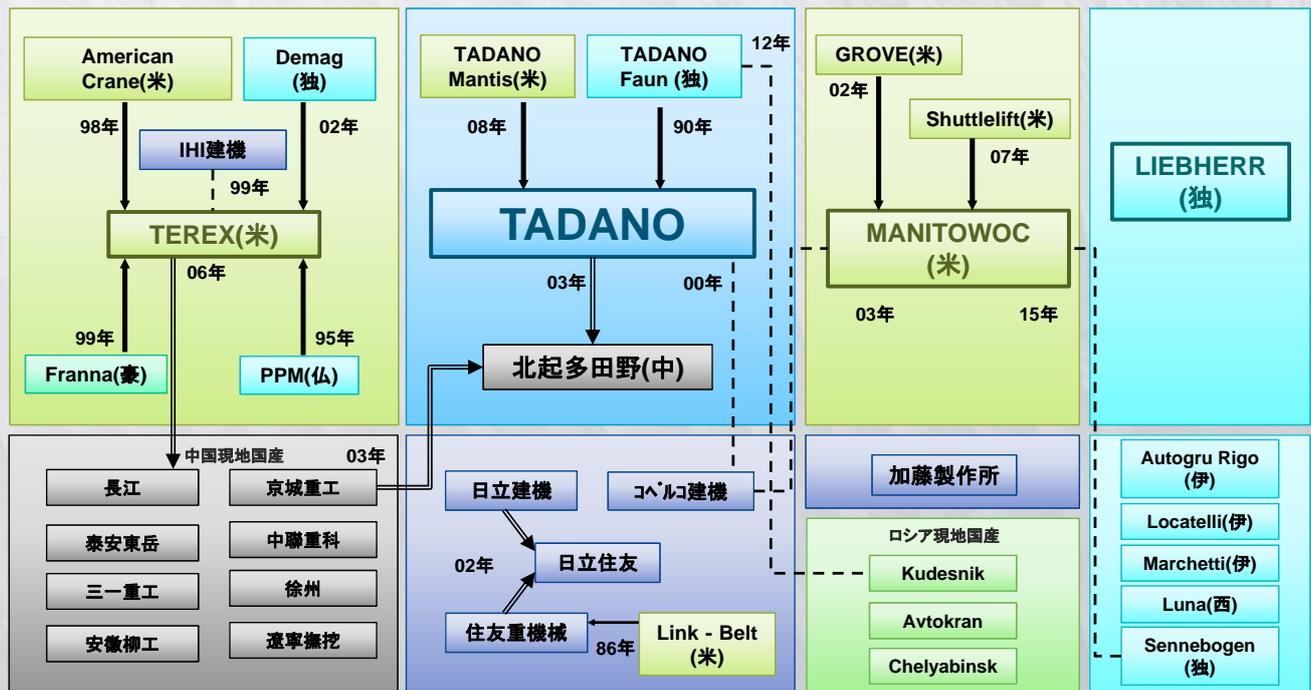
- ・走行性に優れたトラックに架装したクレーン。日本総需要は数万台、主に海外向け
- ・遠距離走行性に優れる。
- ・日本向け20t吊り1機種（タダノで製造）
- ・海外向け35～80t吊り7機種（タダノ・TFG・北起多田野で製造）



【建設用クレーンの共通事項】

- ・関係省庁：国土交通省（自動車の規制）及び厚生労働省（クレーンの規制）
 - 排ガス規制、騒音規制の強化、走行規制（オールテレーンクレーン等大型機種の分解搬送）の取締り強化
- ・日本での販売先：クレーン工事業（セネコンの一次・二次下請で、クレーン免許を有するオペレーター付でクレーンを現場派遣）
- ・国土交通省直轄工事における排出ガス規制：2012年4月から第2次基準値適合車の使用原則化
 - ⇒復興工事への影響を考慮し、規制強化を事実上延期
- ・日本向けRC 4次排出ガス規制
 - 原動機出力130kW以上 2016年9月以降 130kW未満 2017年9月以降
- ・北米向けRC排出ガス規制 Tier4 2014年1月以降（次期規制は未定）
- ・欧州向けAC排出ガス規制 Euromot IV 2014年1月以降（次期規制は未定）

クレーン業界図(油圧式クレーンメーカー・クローラクレーンメーカー)

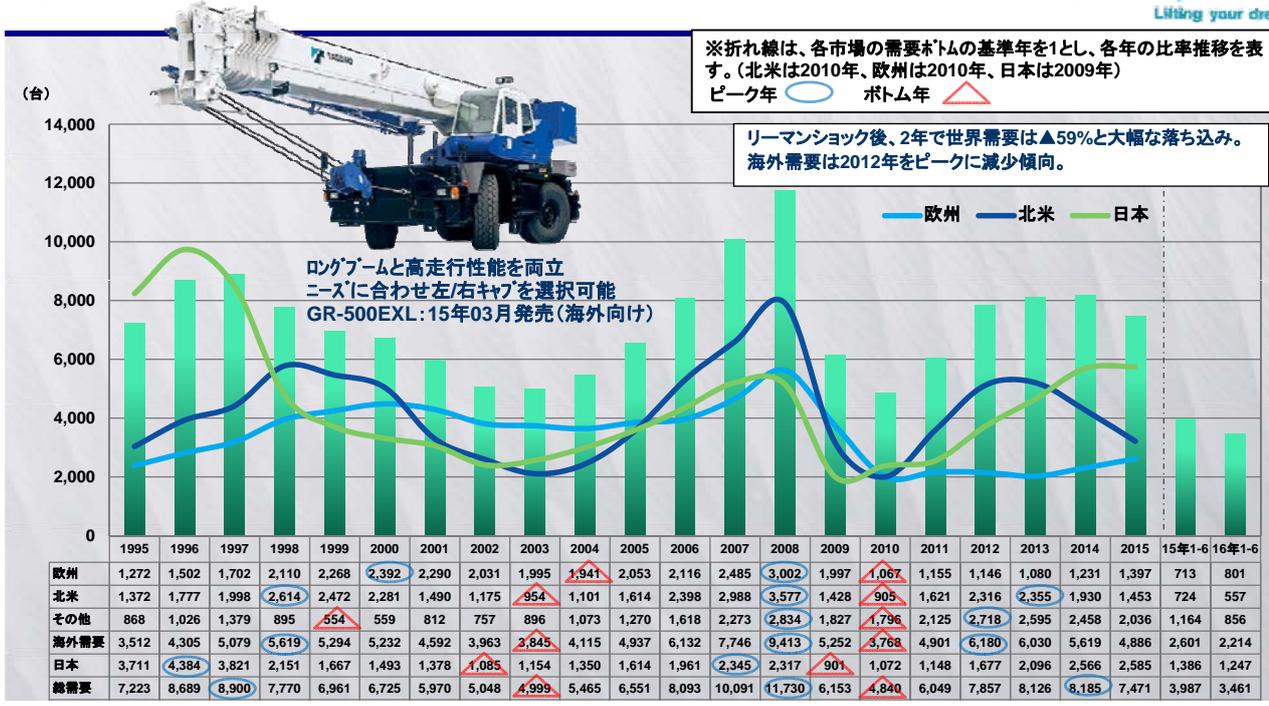


徐州=XCMG Xuzhou Construction Machinery Group, 中聯重科=Zoomlion, 三一重工=Sany, 安徽柳工=Liugong

* 日本建設機械工業会資料より、当社作成

→ 買収を示す。(数値はその年度)
 - - - 提携を示す。(数値はその年度)
 ⇨ 出資・JVを示す。

建設用クレーンの世界総需要推移(暦年ベース)



1. 海外市場はSYSTEMATIC/CEMA/FEM等の統計データより当社推計
2. 中国・ロシア国産の建設用クレーンは上記に含まず。

なお中国市場における中国国産の総需要推移は次の通り。

2009年約2万7千台、2010年約3万5千台、2011年約3万5千台、2012年約2万2千台、2013年約1万7千台、2014年約1万4千台、2015年約9千台。



建設用クレーン 地域別需要機種構成(暦年ベース)



世界シェア 33.8%→33.9% (世界総需要に中国・ロシア国産含まず) 当社 1,348台→1,172台
油圧式建設用クレーン 世界総需要 3,987台→3,461台 (16年1-6月、当社調べ) 前年同期比 13.2%減

■ TC
■ RC
■ AC

欧州 総需 713台→801台(+12.3%)
TC 29台・RC 74台・AC 698台
当社 126台→122台
(当社シェア 17.7%→15.2%)

日本 総需 1,386台→1,247台(△10.0%)
TC 4台・RC 1,185台・AC 58台
当社 648台→578台
(当社シェア 46.8%→46.4%)

北米 総需 724台→557台(△23.1%)
TC 71台・RC 360台・AC 126台
当社 203台→111台
(当社シェア 28.0%→19.9%)

中東 総需 490台→350台(△28.6%)
TC 47台・RC 205台・AC 98台
当社 193台→174台
(当社シェア 39.4%→49.7%)

その他 総需 266台→194台(△27.1%)
TC 15台・RC 66台・AC 113台
当社 50台→52台
(当社シェア 18.8%→26.8%)

中南米 総需 80台→87台(+8.7%)
TC 1台・RC 52台・AC 34台
当社 8台→20台
(当社シェア 10.0%→23.0%)

アジア 総需 328台→225台(△31.4%)
TC 14台・RC 171台・AC 40台
当社 120台→115台
(当社シェア 36.6%→51.1%)

※TCはトラッククレーン、RCはラフテレーンクレーン、ACはオールテレーンクレーンを表す。
数値は、当社推計。その他は、オセアニア、アフリカ、CIS。台数・シェアは、前年同期からの変化を示す。



<欧州事業の課題>

オールテレーンクレーンのフルレンジ化、
欧州でのシェアアップと欧州域外への拡販

● 欧州グループ会社の概要

【TADANO FAUN GmbH】

90年に買収、資本金:45百万EUR 当社100%出資
所在地:ドイツ国バイエルン州
事業内容:建設用クレーンの開発・製造・販売
代表者:社長 アレクサンダー・クネヒト、従業員:622人
売上高の推移:

09年:270百万EUR/381台、10年:178百万EUR/213台、11年:199百万EUR/248台、12年:268百万EUR/294台、
13年:313百万EUR/329台、14年:308百万EUR/347台、15年:304百万EUR/376台

【TADANO FAUN Stahlbau GmbH(タダノファウンシュタールハウ)】

資本金:650千EUR(出資比率 TFG社 80%、アムロン10%、香西鉄工所10%)
設立:08年9月、所在地:ドイツ国バイエルン州TFG社工場内
事業内容:TFG社向け建設用クレーン部品(ジブ等)の製造
代表者:社長 ラルフ・ゾンターク、従業員:13人

【TADANO UK Ltd.】

14年4月に買収、資本金:2,000GBP TFG社100%出資
所在地:英国サウスヨークシャー州
事業内容:建設用クレーン等の販売、サービス
代表者:社長 トーマス・シラム、従業員:17人

【TADANO France SAS】

16年2月に設立、資本金:50千EUR TFG社100%出資
事業内容:建設用クレーン等の販売、サービス
代表者:社長 トーマス・シラム、従業員:3人

● オールテレーンクレーンのフルレンジ化の加速

40~400tの9機種をラインナップ
16年4月最大クラス600t(8軸車)をBauma展に出展、正式販売時期は未定



<米州事業の課題>

北米でのシェアアップと中南米の取り組み

● 米州グループ会社の概要

【TADANO America Corp.】

資本金:2.5百万USD TAHI社100%出資、所在地:米国テキサス州
事業内容:建設用クレーンの販売
代表者:社長 柿沼 陽、従業員:78人
売上高の推移:10年 78百万USD、11年 183百万USD、12年 249百万USD、
13年262百万USD、14年 305百万USD、15年 285百万USD

【TADANO MANTIS Corp.】

08年に買収、資本金:287千USD TAHI社100%出資
所在地:米国テネシー州、事業内容:油圧伸縮ブーム式クローラークレーンの製造・販売
代表者:社長 森田 士朗、従業員:150人
主要製品:伸縮ブーム式クローラークレーン(履帯式の足回りを持つキャリアに油圧伸縮するブームを持つクレーンを組み合わせた製品)。主に土木・建設工事に使われ、不整地や泥濘地、トンネル内での作業などに適する。
売上高の推移:10年 16百万USD、11年 34百万USD、12年 39百万USD、
13年 36百万USD、14年 30百万USD、15年 40百万USD

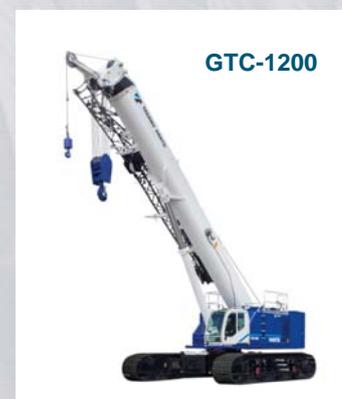
【TADANO Panama S.A.】

資本金:1万USD 当社100%出資
所在地:パナマ共和国パナマ市、事業内容:建設用クレーン等の販売・サービス
代表者:社長 宗澤 賢二、従業員:4人

【TADANO Brasil Equipamentos de Elevacao LTDA.】

資本金:30百万BRL 当社100%出資
所在地:ブラジル共和国サンパウロ州、事業内容:建設用クレーン等の販売・サービス
代表者:社長 永井 啓介、従業員:12人

※TAHI社は、TADANO America Holdings,Inc.の略。



15年03月新発売
タダノとの共同開発による
TMC初のラウンドブーム採用
・米国Lift and Access誌
2014年度 LE Award 受賞

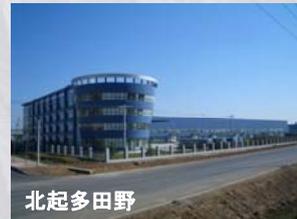
<中国事業の課題>

コストダウン・品質向上の実現、中国国内での拡販と中国からの輸出増。
16年3月期に事業環境悪化につき、評価損計上。

●中国グループ会社の概要

【北起多田野(北京)起重機有限公司】

資本金:30百万USD 当社50%、北京京城重工機械有限責任公司50%出資(設立03年3月)
所在地:北京市順義区林河(北京市街から約25km北西)
事業内容:トラッククレーン等の製造販売、8~100t吊りTC 8機種
総経理 内田 秀三(当社)、従業員 240人



北起多田野

【金天利多田野(河北)金属加工有限公司】

資本金:5.5百万USD 当社56%、アムロン5%、カワニシ5%、河北金天利34%(設立10年1月)
所在地:河北省涿州市開発区(北京市街から約60km南西)
事業内容:建機用金属加工部品(ブーム・ジブ・アウトリガ等)の製造販売
総経理 村上 照幸(当社)、従業員51人



金天利多田野

【多田野(北京)科貿有限公司】

資本金:5百万USD 当社100%(設立12年3月)
所在地:北京市朝陽区
事業内容:建設用クレーンの販売・サービス
総経理 金 虎林(当社)、従業員7人

【京城多田野(北京)液圧機器有限公司】 ※15年9月に清算決議

資本金:4百万USD 当社65%、三村鉄工5%、村上製作所5%、京城重工25%(設立07年9月)
所在地:北京市通州区(北京市街から約20km東)
事業内容:建機用油圧部品(バルブ、ロータリージョイント、小型シリンダ、配管等)の製造販売
総経理 村上 照幸(当社)、従業員3人

2003年以降の海外展開 ~15社設立・買収、4拠点新設~

【2008】タダノ・ファウン・シュタルパウ 設立
【2011】タダノ・ファウン 試験用地取得
【2014】クレーンズ・ユーケー(現タダノ・ユーケー) 買収
【2016】タダノ・フランス 設立

【2008】タダノ・アメリカ・カナダ事務所 開設
【2008】タダノ・アメリカ・ホールディングス 設立
【2008】スパンデック(現タダノ・マンティス) 買収



車両搭載型クレーン



【カーゴクレーン】日本シェア 48.1%→50.6%

日本総需要 7,600台 (16年度中間、当社調べ) 前年同期比10.1%減

⇒ 需要が減少するなか、拡販に注力し、

売上高は、95億3千4百万円 (前年同期比 95.8%)

- ・通常のトラックに架装した小型クレーン、貨物の積載・運搬・設置作業等が1台で可
- ・物流用途、造園業や建設業用途、トラックディーラーの间接販売
- ・小型・中型・大型トラック架装用に多数の機種 0.49t～4.9t吊り

- ～関係省庁～
 - ・主に厚生労働省(クレーンの規制)
- ～主な販売先と特徴～
 - ・トラックディーラー
 - ・トラック需要に左右される傾向



初の「アイドリングストップ」機能をオプション設定

(海外展開)

- ・カーゴクレーンの戦略市場向け輸出に注力。クレーン部を輸出し、現地にてトラックに架装。

15年度上期売上:6.7億円 → 16年度上期売上:6.4億円

- ・12年4月タイに製造子会社を設立し、海外展開を加速。



輸出カーゴクレーンZR560



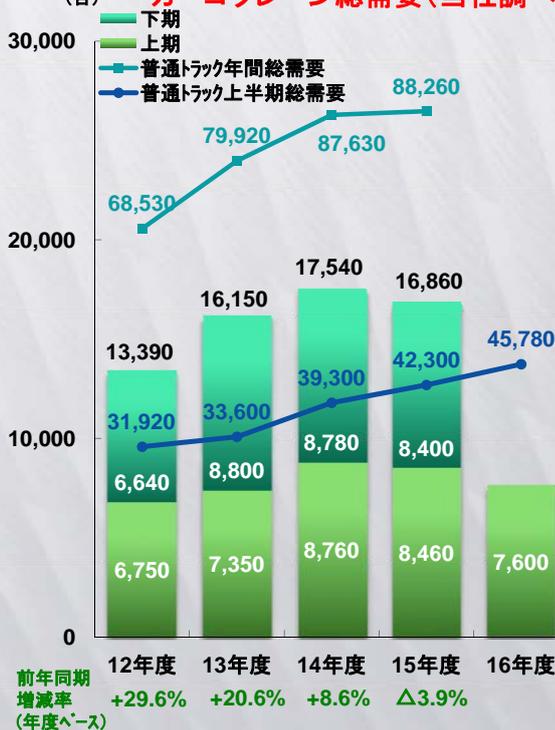
スライドキャリア(車輛運搬車)



車両搭載型クレーン



カーゴクレーン総需要(当社調べ) (台)



車両搭載型クレーン売上高



【TADANO (Thailand) Co.,Ltd.】

資本金:310百万THB 当社100%出資

設立:12年4月(13年6月操業開始)

所在地:タイ国チョンブリー県ヘムラート・イースタンシーボード工業団地内

事業内容:カーゴクレーンの製造・販売

生産能力:1,000台/年

(販売台数:13年 38台、14年 258台、15年 418台)

代表者:社長 吉田 耕三、従業員:39人

- 建設用クレーン以外の初の海外生産拠点を設立。
本製造子会社設立により、海外展開をさらに加速させるとともに、収益性の向上を目指す。



タイ工場で生産のカーゴクレーン ZT1000
(16年07月新発売)



工場内



TADANO (Thailand)

日本シェア 40.3%→38.9%

トラック搭載タイプ日本総需要 2,177台 (16年度中間、当社調べ) 前年同期比14.1%増

⇒ 需要が増加するなか、高付加価値のスーパーデッキ・ブリッジチェッカーの拡販に注力し、売上高は、108億3千100円(前年同期比 123.1%)で、**半期として過去最高**。

[トラック式]

- ・通信用 5機種、電工用 3機種
- ・一般工事用 13機種

[ホイール式] 2機種

[スーパーデッキ] 5機種 (高度な制御技術を装備)

[ブリッジチェッカー] 3機種 (高架道路や橋梁点検用)



ブリッジチェッカー BT-200

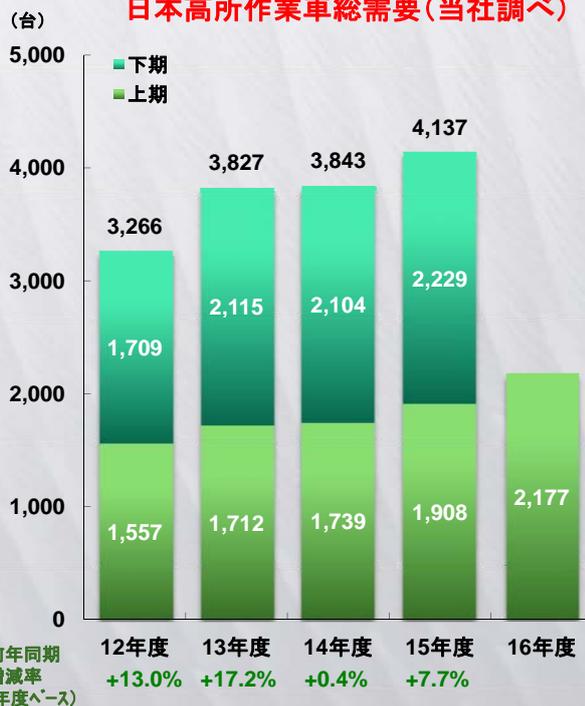
～関係省庁～

- ・主に厚生労働省(高所作業車の規制)

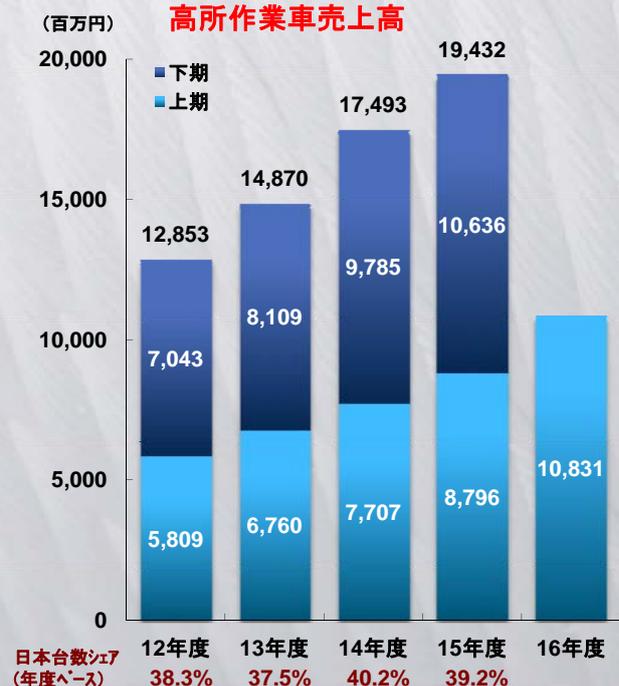
～主な販売先と特徴～

- ・電力電工、通信、レンタル、一般、造船、国土交通省

日本高所作業車総需要(当社調べ)



高所作業車売上高



⇒ 部品、修理、中古車等のその他売上高は、131億7千8百万円（前年同期比 93.2%）

【中古クレーン】

- ・当中間期は、日本向けは増加、海外向けは減少。
- ・今後はグローバル化に注力。

【部品修理】

- ・当社は、修理用の部品売上を計上
（修理は、主に指定サービス工場や海外代理店
が担当し、指定サービス工場や海外代理店で売上計上）
- ・当中間期は、日本向け海外向けともに減少。



オールテレーンクレーンATF400Gのブーム着脱作業例
CL-500: 13年08月発売

【オールテレーンクレーン着脱リフター】

- ・公道走行に際して、法令に基づき分解・搬送を必要とする日本向けオールテレーンクレーンの着脱用リフター



(単位:百万円)

	15年度		16年度予想		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	209,426	100.0%	180,000	100.0%	-14.1%
営業利益	31,062	14.8%	18,000	10.0%	-42.1%
経常利益	30,680	14.6%	18,000	10.0%	-41.3%
親会社株主当期純利益	19,621	9.4%	11,500	6.4%	-41.4%

* 16年度業績予想を10月31日付で修正しております。

1株当たり配当金	中間	13.00円	中間	13.00円
	期末	13.00円	期末	13.00円
	年間	26.00円	年間	26.00円

* 4月28日付発表の配当予想は変更していません。

設備投資額	4,572百万円	7,000百万円
減価償却費	2,793百万円	3,100百万円
為替レート(USD)	121.05円	105.00円(下期)
為替レート(EUR)	134.31円	115.00円(下期)

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

* 下期為替レートを10月31日付で修正しております。

【16年度の経営方針】

- ①コアバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②中期経営計画(14-16)最終年度の仕上げと次期中計(17-19)の検討
- ③市場急落・競争激化への備えと対応

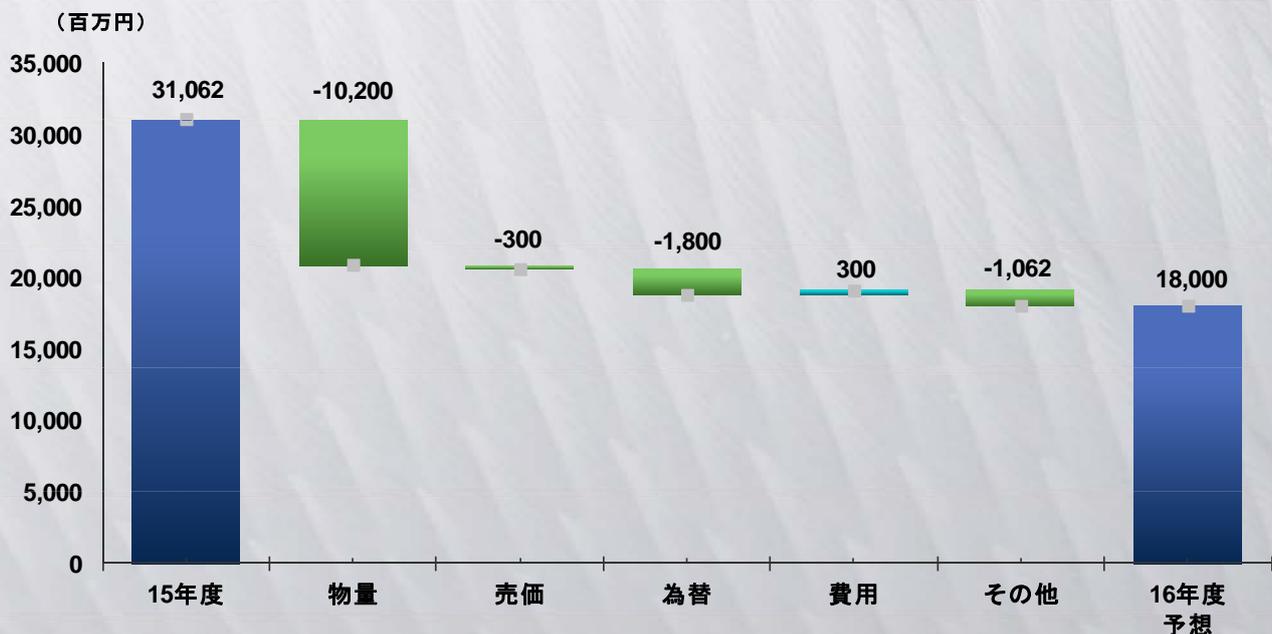
【中期経営計画(14-16)7つの戦略】

- ①基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
- ②No.1商品の提供とラインナップの充実
- ③グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④感動品質、感動サービスの提供
- ⑤ライフサイクル価値の向上
- ⑥収益力のレベルアップ
- ⑦グループ&グローバル経営基盤の強化

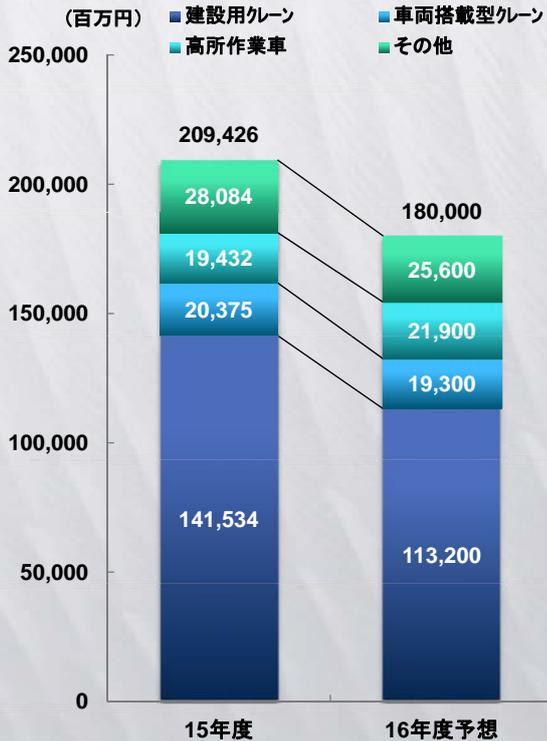
◆16年度海外売上高比率 43.3%

16年度業績予想(営業利益の増減要因)

売上減少や為替影響等により、営業利益は130億円の減少。



16年度業績予想(製品別売上高)



(単位:百万円)

	15年度		16年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	141,534	67.6%	113,200	62.9%	-28,334	-20.0%
車両搭載型クレーン	20,375	9.7%	19,300	10.7%	-1,075	-5.3%
高所作業車	19,432	9.3%	21,900	12.2%	2,467	12.7%
その他	28,084	13.4%	25,600	14.2%	-2,484	-8.8%
合計	209,426	100%	180,000	100%	-29,426	-14.1%

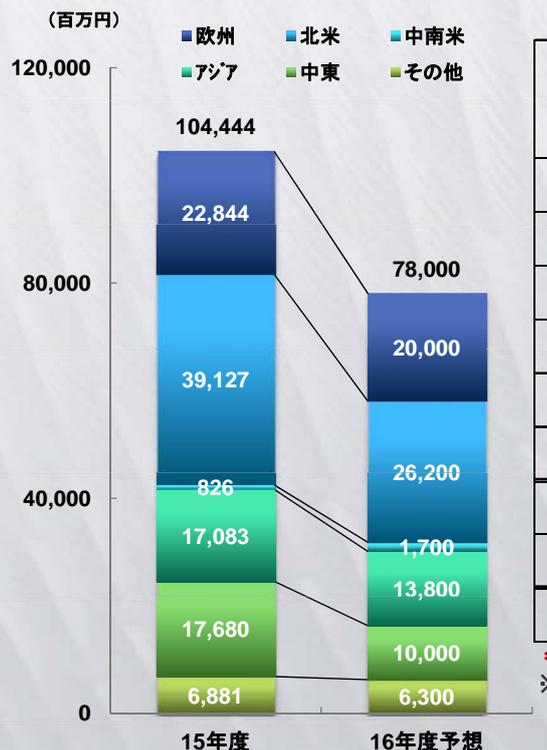
◆海外売上高比率 49.9% → 43.3%

※建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

日本	51,104	47,200	-3,904	-7.6%
海外	90,429	66,000	-24,429	-27.0%

* 10月31日付で業績予想を修正しております。

16年度業績予想(仕向地別売上高)



(単位:百万円)

	15年度		16年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	22,844	10.9%	20,000	11.1%	-2,844	-12.4%
北米	39,127	18.7%	26,200	14.5%	-12,927	-33.0%
中南米	826	0.4%	1,700	0.9%	873	105.8%
アジア	17,083	8.2%	13,800	7.7%	-3,283	-19.2%
中東	17,680	8.4%	10,000	5.6%	-7,680	-43.4%
その他	6,881	3.3%	6,300	3.5%	-581	-8.4%
小計(海外計)	104,444	49.9%	78,000	43.3%	-26,444	-25.3%
日本	104,981	50.1%	102,000	56.7%	-2,981	-2.8%
合計	209,426	100%	180,000	100%	-29,426	-14.1%

* 10月31日付で業績予想を修正しております。

※左のグラフには日本を含んでおりません。

その他は、オセアニア、アフリカ、CIS。

◆香川県埋立地の工場用地取得(2016年11月)

長期目標であるLE世界No.1の達成に向け、現在の志度工場に加え、建設用クレーンを製造する新工場が必要と考え、2016年7月に高松港香西(西)地区埋立地の工業用地の売買契約を締結。11月に取得完了予定。

所在地: 香川県高松市香西北町
 面積: 約20ha(約6万坪)
 取得価格: 約24億円

新工場の構想

目的	建設用クレーンの生産
建物延床面積	第1期工事(注) 約42千㎡ ※数年をかけて拡張する予定
投資額	第1期工事 約175億円 ※拡張後の最終投資額 約200億円
従業員数	第1期 約200人

(注)第1期工事 2016年秋頃~2018年秋頃



2014年10月撮影
(香川県提供)

※高松中心部より西へ車で10分

- 2008/2 タダノ・アメリカ 事務所拡張移転
- 2008/10 日本市場向け製品に動態管理システム搭載
- 2009/4 タダノ・アジア シンガポールトレーニングセンター開設
- 2011/1 中部部品センター開設
- 2011/3 海外市場向け製品に動態管理システム搭載
- 2012/2 北陸部品センター開設
- 2013/3 タダノテクノ東日本 本社(新木場工場) 拡張 4億円
- 2013/4 タダノテクノ東日本 仙台架装センター 開設
- 2013/10 タダノテクノ東日本 真岡架装センター 開設
- 2014/5 タダノテクノ西日本 広島架装センター 移転
- 2014/7 タダノテクノ西日本 枚方工場 移転
- 2014/12 タダノトレーニングセンター開設 4億円
- 2015/6 首都圏部品センター開設
- 2016/5 **タダノ・グローバル・パーツセンター(神戸) 開設**
- 2016/6 **タダノテクノ東日本 佐倉工場 拡張** 11億円
- 2016/9 **タダノ・アメリカ カナダ事務所移転拡張**
- 2016/10 **豪州 サービス代理店 買収合意** ※金額は投資額



タダノ・グローバル・パーツセンター外観
(神戸市ポートアイランド)



タダノ・アメリカカナダ事務所

今後も、海外における販売サービス拠点・部品デポの展開に取り組んでまいります。

◆CREVO G4シリーズ第一弾 70t・25t吊り ラフテレーンクレーン発売

グッドデザイン賞を受賞した洗練されたデザインと、最先端技術を取り入れた機能により、更なる安全、安心そして効率の追求を目指した最先端クレーンを2016年10月から販売。



GR-700N(G4)



GR-250N(G4)

【ワイドサイトビュー】

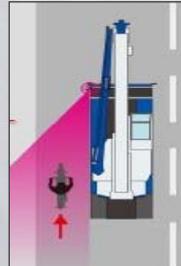
周辺状況を常に認識できる機能を装備



ワイドサイトビューの画像

【ヒューマンアラートシステム】

左側方のバイク・自転車・人物を検知し、警報・ランプで注意を促す機能を装備



イメージ図

【セットアップラジコン】

クレーンの作業準備、片付けを効率的に行う、ラジコンによる支援機能を装備

【その他】

- ・更なる快適性を追求した新型キャブ
- ・操作性を見直した新操作システム
- ・環境に配慮した最新エンジン搭載
- ・新型ジブ装着機能(SACO Jib II)
- ・その他多くの新機能を搭載